

ELPIシステム搭載バイフューエル車 使用マニュアル

1. ELPI搭載車の特徴

バイフューエル車：この車は、ガソリン或いはLPG(液化石油ガス)のいずれでも走行できる
ワンタッチ切替：基本はLPGモードですが、切替スイッチにてLPG・ガソリンへと切替可能

使用上の注意

- * 切替は暖気後にして下さい。(走行中でも切替可能)
- * 高速走行中の切替はしないで下さい。(故障の原因になります)
- * アイドリング時の切替はエンストすることがありますが異常では有りません

2. エンジン始動法 (モード選択)

通常始動はLPGモード (ON)



緑色パイロット
ランプ点灯

LPGモード (スイッチON)

- ：始動時はガソリンで始動し暖気後は自動的にLPGに切り替わる
- ：充分暖気してから走行することをお勧めします

寒冷時 (冬期) 始動はLPGモード (OFF)



緑色パイロット
ランプ消灯

LPGモード (スイッチOFF)

- ：冷間時はLPGモードをOFFにすると始動しやすい
- ：充分暖気後、手動でLPGモードボタンをONにする
(ガソリンからLPGに切り替る時エンストすることがあります)

3. 燃料計の見方 (燃料残存量の確認)

メータパネルの燃料計にて、LPG・ガソリン両方の残量を表示します

- ・LPGモードON : LPGの残量を表示します
- ・LPGモードOFF : ガソリンの残量を表示します

使用上の注意

- * どちらのモードであっても、エンプティランプが点灯しましたら速やかにそのモードの燃料を補給して下さい
- * 表示切替に時間がかかる場合があります (残量記憶装置が付いていると5分~10分)
- * LPGの残量表示は暫定表示です。正確にはポンベのゲージを確認してください

ガス欠に用心

ガソリン・LPGともにガス欠をしないように !!

インジェクターが破損することがあります

補足) ガス欠後、ガスを充填すると遮断弁が働きエンストする。
その時にはポンベの赤バルブをいっぱい締め切り、ゆっくり1回転開きエンジンを始動し、その後全開にして下さい。

4. 燃料の補給

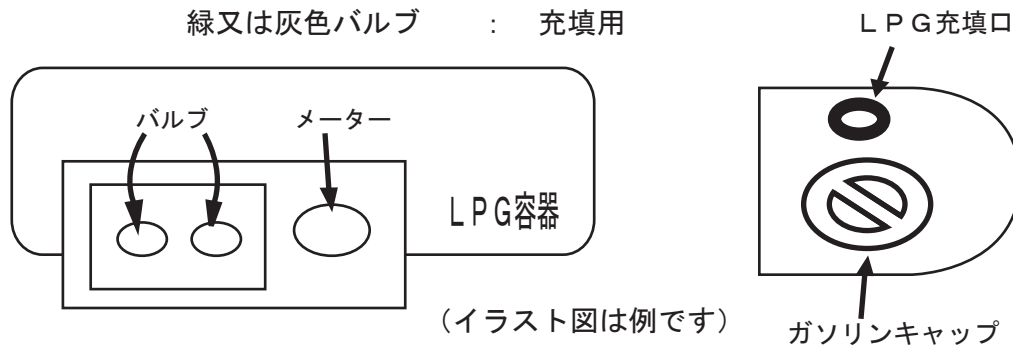
- ・ガソリンは通常のガソリンスタンドで行ってください
- ・LPGはLPGオートスタンドで行ってください

使用上の注意

- * ガソリンを完全に空 (ゼロ) にしないで下さい
暖気中は自動的にガソリン始動となるため、エンジンをかける事ができません
- * LPGは空 (ゼロ) の状態でもガソリンが入っていればガソリンモードで始動できます。但し、LPGモードは **OFF** にして下さい

- ・LPG充填の際、ガススタンド作業者は燃料タンクに装着されているバルブを開閉して作業を行います。トランク内のLPGボンベのバルブ開閉・メータの視認が出来るようにしてください
- ・LPオートガススタンドの運用基準では、充填時にはエンジンを停止し、キーを係員に預け車外に出ることに成っています。スタンドの係員に従ってください

注) 赤色取出し口バルブ : 緊急の時は締めること
 緑又は灰色バルブ : 充填用



☆注) LPガスが空の状態での充填した場合、バルブの過流防止弁が働き、ガスが出なくなってしまい、ガソリンからLPGに切替不能になります。一度切替不能になった場合には、ボンベの赤バルブをいばいに締切、その後ゆっくりと開いて下さい。過流防止弁が解除され復帰します

5. 始業点検

- ・LPG・ガソリンの燃料残量を確認してください
- ・ラジエターの水を確認してください
- ・エンジンオイルをオイルゲージにて確認してください
- ・エアークリーナー・エレメントはきめ細かく清掃してください
- ・その他、ガソリン車と同等の日常点検を行ってください

(E L P I システム 問い合わせ先)
 開発製造元 株式会社 田中モータース
 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 6-11-15
 T E L 03-3620-1211 F A X 03-3620-1228